

みずほCustomer Desk Report 2020/10/16号(As of 2020/10/15)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	105.26 AUD/USD
TKY 9:00AM	105.14	1.1747	123.52	1.3019	0.7141
SYD-NY High	105.50	1.1758	123.77	1.3030	0.7168
SYD-NY Low	105.05	1.1689	123.02	1.2891	0.7057
NY 5:00 PM	105.42	1.1707	123.42	1.2899	0.7095
NY DOW	28,494.20	▲ 19.80	日本2年債	-0.140	0.00bp
NASDAQ	11,713.87	▲ 54.86	日本10年債	0.020	▲1.00bp
S&P	3,483.34	▲ 5.33	米国2年債	0.142	0.20bp
日経平均	23,507.23	▲ 119.50	米国5年債	0.316	1.12bp
TOPIX	1,631.79	▲ 12.11	米国10年債	0.738	1.16bp
シカゴ日経先物	23,525.00	▲ 45.00	独10年債	-0.6120	▲3.60bp
ロンドンFT	5,832.52	▲ 102.54	英10年債	0.1795	▲3.90bp
DAX	12,703.75	▲ 324.31	豪10年債	0.7580	▲8.70bp
ハンセン指数	24,158.54	▲ 508.55	USDJPY 1M Vol	7.30	▲0.10%
上海総合	3,332.18	▲ 8.60	USDJPY 3M Vol	7.11	▲0.11%
NY金	1,908.90	1.60	USDJPY 6M Vol	7.23	▲0.03%
WTI	40.96	▲ 0.08	USDJPY 1M 25RR	-1.18	Yen Call Over
CRB指数	151.742	0.23	EURJPY 3M Vol	7.55	0.15%
ドルインデックス	93.86	0.47	EURJPY 6M Vol	7.83	0.23%

東京	東京時間のドル円は105.14レベルでオープン。仲値にかけて実需筋のドル買いが優勢となり105.30まで上昇。しかし、その後は日本や香港の株安を受けて伸び悩んだ。結局、105.29レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	本日ロンドン市場ドル円は方向感に欠ける動きとなった。105.29レベルでオープン。米大統領選をめぐり混乱が予想される中、一時は105.17レベルまで値を下げた。本日、英国が設定したブレグジットによる英国とEU間での通商交渉期限となるが合意は難航するとの見方や、本日より開催された欧州連合首脳会談への不透明感を背景にリスクオフ。ドルが買われ105.34レベルまで値を戻すも105.26レベルにてNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は一時105.05レベルをつけ、再び105円割れに迫る場面もあったが、東京時間は実需勢のドル買いフローにサポートされ、105.30レベルまで上昇。欧州時間ではブレグジット交渉の停滞や、欧州圏でのコロナの感染拡大への懸念が強まるも、ドル買いと円買いが同時に強まった結果、ドル円は105円台前半でもみ合い、105.26レベルでNYオープン。朝方発表された米新規失業保険申請件数が予想を上回るも、継続受給者数が予想下振れとなったほか、フィラデルフィア連銀景況指数が予想以上に改善しており、強弱まちまちの結果となる中、ドル円は米金利の低下つれて安値105.19レベルまで下落。その後「トランプ米大統領、景気対策案の規模1.8兆ドル超に引き上げることに意欲」とのヘッドラインが流れたものの、追加対策合意への期待感高まりには特段繋がらず、リスクオフのドル買い優勢となり105.37まで上昇。午後は米株が下げ幅縮小の動きを見せるも、欧州通貨安や米金利上昇が続く中、ドル買い優勢となり、105.50レベルまで高値を更新し、結局、105.42レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.17台でスタートするが、ドイツで1日当たりの新規コロナ感染件数が過去最多だったことや、ロンドンがコロナ対策として高度の制限導入を検討していることが伝わる中、その後は欧州通貨の売り優勢となる。欧州株の軟調推移にも圧迫され、1.1703まで下落後、1.1708レベルでNYオープン。朝方は海外時間のドル買いの流れを引き継ぎ、10月2日以来の1.1700割れとなり、1.1689まで下落する。この水準では買い戻しも入り、下げ止まるも、ブレグジット問題やコロナ感染拡大への懸念が燦り、リスクセンチメントが改善しない中、上値重い展開が続く。終盤に小幅値を戻し、結局、1.1707レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 加藤・上遠野 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

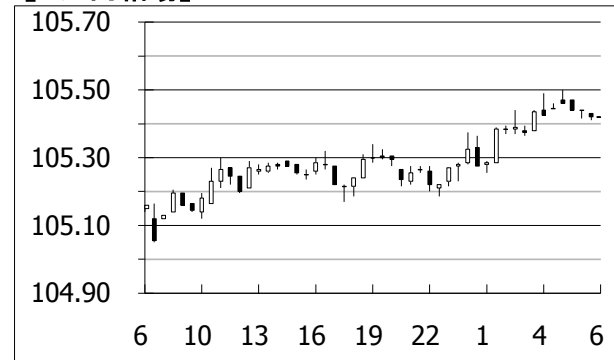
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月15日	09:30	豪 雇用者数変化/失業率	9月 -29.5k/6.9%	-40.0k/7%
	10:30	中 PPI/CPI(前年比)	9月 -2.1%/1.7%	-1.8%/1.9%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	10月 10.5	14
	21:30	米 新規失業保険申請件数	10-Oct 898k	825k
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	10月 32.3	14.8
	22:00	英 カンリフBOE副総裁 講演	「BOEはバランスシート拡大よりも流動性供給のための方法を模索する必要」	
10月16日	03:00	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	「2%のインフレは目標であり天井ではない」	

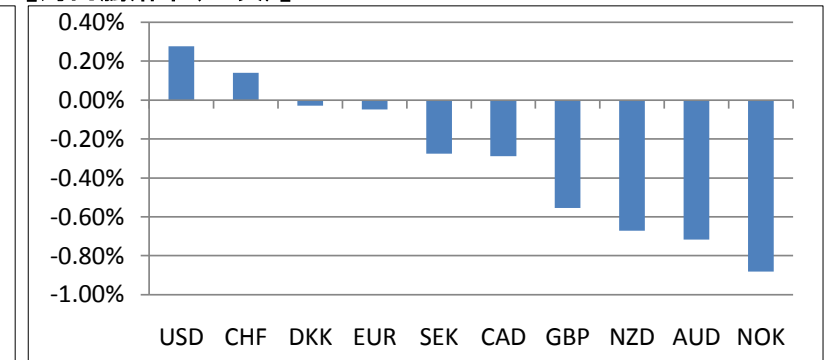
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月16日	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	9月 0.1%/-0.3%	0.1%/-0.3%
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	9月 0.8%	0.6%
	22:35	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	22:45	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	10月 80.5	80.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.20-105.60	1.1660-1.1740	122.70-123.60

【マーケット・インプレッション】

米国選挙を前に、米追加経済政策やヨーロッパでの通商協議不透明感・新型コロナ感染二次拡大をテーマとして、10月初旬から積み上げてきた投機筋のリスクオンポジションの解消が続いている。リスク通貨売り、米ドル買い、円買いが顕著で、ドル/円は方向感を失っている。株式市場も調整的な動きとなっており、ドル/円がトレンドを見せるまでにはしばらく時間がかかりそうである。市場参加者の目は徐々にポスト新型コロナにおける各国の財政支出に移行していくと考えられるが、足許ではポジションの縮小の方が目立っている。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル		8	13